

6. 看護キャリアアップセンター「脳卒中リハビリテーション看護」認定看護師教育課程の実践報告

○大塚 眞代（関西福祉大学看護キャリアアップセンター）
古米 照恵、藤野 文代（関西福祉大学看護学部）

I. はじめに

関西福祉大学看護キャリアアップセンターは、2014年7月脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程（以下、本課程）を開設した。脳卒中リハビリテーション看護は、脳卒中患者および家族に対し、熟練した看護技術や知識を必要とする看護分野として、2008年認定看護分野に認定された。2015年7月現在、認定看護師の登録者数は583名となった。その中に、本課程の2014年度修了生（第1期生）全員が加わったことはとても誇らしく、教育機関としての使命を一つ果たした思いである。

認定資格の取得にあたっては、日本看護協会（以下、日看協）が認定システムを設け、認定看護師の質の担保を図っている。その過程において、教育機関には認定看護師の育成にふさわしい条件を備えることが求められ、担う役割も大きい。本課程は、2015年度2期生10名を迎え7月から開講した。今回、開設から現在までの教育課程の概要を報告し、今後の課題を述べる。

II. 受講生の概要

日看協が定める教育課程入学要件（看護師免許取得後、5年以上の看護経験を有する。そのうち脳血管障害の看護の実務経験が3年以上あること）を充たし、本課程の入学選抜試験に合格した者である。

	人数	就学中の所属先	所属先の所在地（都道府県）
2014年度	8名（男性2 女性6）	あり：7名 なし1名	兵庫2、大阪1、岡山1、山口1、鳥取1、香川1
2015年度	10名（男性2 女性8）	あり：10名	兵庫5、大阪2、滋賀1、広島1、高知1

III. 授業科目の履修概要

日看協が定める認定看護師教育基準カリキュラムに基づき、教育上効果的であるよう教育期間、授業内容・方法、教員、修了認定方法等を決定している。

- 看護分野に期待される主な能力：「脳卒中患者の重篤化回避のためのモニタリングとケア」「活動性維持・促進のための早期リハビリテーション」「急性期・回復期・維持期における生活再構築のための支援」「患者・家族の権利擁護と自己決定支援」「地域連携を推進する多職種との協働」「看護職者への指導・相談対応」
- 教育期間：7ヵ月間（7月～翌1月） 原則 月～金（1コマ90分 9:20～18:20）*土曜日開講もあり
- 科目：共通科目150時間・専門基礎科目120時間・専門科目150時間・演習/実習240時間 計660時間
 - 科目進度・7月～10月（学内講義・演習）、10月～12月（実習） 1月（修了試験・修了式）
 - 科目履修・科目毎に筆記、小論文、プレゼンテーション等で評価。合格基準6割以上
 - 修了認定・開講する全授業科目単位を修得し、かつ課程修了試験に合格すること。合格基準8割以上
- 教員：主任教員1名 専任教員1名（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）
非常勤講師：脳卒中および専門分野に精通した看護師、医師、セラピスト、大学教員に依頼
- 実習：急性期・回復期・維持期の脳血管障害患者の看護実績があり、関連分野の認定看護師が指導者として所属する病院、訪問看護ステーションで行う。急性期10日間、回復期10日間、維持期2日間（見学）
実習施設所在地（2015年度）：兵庫県6（8） 岡山県2（2） 大阪府1（1）

IV. 今後に向けて

2015年4月のカリキュラム改正に基づく授業内容の検討を行い、一人でも多くの認定看護師を輩出できるよう努めたい。また、認定看護師の更新審査の一助となるよう、自己研鑽の場を提供していきたい。

謝辞 本課程は開設から今日まで、多くの皆様方からご支援と励ましをいただきました。誌面をおかりして、心より感謝申し上げます。今後も本学教育へのご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。